

## 平成26年度 第7回教育研究評議会（定例）

日 時 平成26年10月1日（水） 13:30～  
場 所 百周年中村記念館 特別会議室

### 〔審議事項〕

- (1) 教育職員の選考について
- (2) 特任教授（准教授）選考に関する教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について
- (3) 教育職員への給与年俸制の導入について
- (4) 大学間国際交流協定の締結について
- (5) 教育職員選考委員会の再設置に伴う委員の選出について

### 〔報告事項〕

- (1) 専門職教員の選考について
- (2) 教育職員選考委員会の廃止について
- (3) 教育職員選考委員会の経過報告について
- (4) 専門職教員選考委員会の設置及び廃止について
- (5) テニユアトラック教員中間審査委員会委員の選出について
- (6) 就業規則の一部改正について
- (7) IR室の運用に関する細則の制定について
- (8) 剽窃検知・独自性検証ツールの導入に伴う運用開始について
- (9) 研究活動等リスク別対応計画制定の報告について
- (10) 平成27年度大学院入学試験実施状況について
- (11) 国際課の組織等について

### 〔その他〕

- (1) 山川健次郎・藤田哲也の特別企画展について

## 平成26年度 第7回教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 平成26年10月1日（水）14:00～16:00
2. 場 所 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 学長，理事（大学改革・教育・情報担当），理事（研究・産学連携担当），理事（学生・附属図書館担当），理事（労務・財務担当），副学長（国際担当），副学長（入試・広報担当），副学長（評価担当），副学長（経営戦略担当），工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長，副工学研究院長（副工学部長），副工学研究院長（副工学府長），副情報工学研究院長（副情報工学部長），副情報工学研究院長（副情報工学府長），副生命体工学研究科長，春山教授，西野教授
4. 列席者 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当），学長特別補佐（IR担当），学長特別補佐（コンプライアンス担当），工学部技術長

### 5. 議事要旨確認

平成26年度第6回（平成26年9月3日）教育研究評議会の議事要旨（案）について確認が行われ，了承された。

### 6. 審議事項

#### (1) 教育職員の選考について

情報工学研究院長から，次の教育職員の選考について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承され，役員会に付議することとした。

①情報工学研究院 機械情報工学研究系 精密システム部門

助教 1名（配置換，任期なし）

②情報工学研究院 人間科学系 人間科学部門 教授 1名（昇任，任期なし）

③マイクロ化総合技術センター 准教授 1名（昇任，任期なし）

#### (2) 特任教授（准教授）選考に関する教育職員選考委員会の設置に伴う委員の選出について

学長から，本日の役員会で設置が決定された特任准教授選考に関する教育職員選考委員会のうち，教育研究評議会の指名する委員の選出について説明があり，審議の結果，了承された。

①生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 人間知能機械講座

特任准教授 1名（任期なし）

#### (3) 教育職員への給与年俸制の導入について

学長から，教育職員へ導入する給与年俸制の概要について説明があり，これに対し

種々の質問の中、学長から次のような発言があった。

- ・ 年俸制の導入によるインセンティブに関して、教育職員の定年年齢を63歳から65歳へ延長された方のさらなる雇用については、その定年退職後、最長70歳までの5年間の雇用延長は保証されるものではない。評価に応じて決定されるべきもので、大型の研究プロジェクト等を担う教育職員であれば、その期間を対象とし、年度毎の評価により雇用期間を決定できるようなものを確立したい。
- ・ 間接経費の10%を年俸制を導入した教育職員へのインセンティブとして給与に追加配分することについては、様々な意見を伺いながら制度を構築していくところであるが、間接経費は全て代表者に配分されてしまうため、分担者に配分する経費がなくなることが懸念される。いくつかのパターンを考えたが、事務業務が複雑になるため、簡潔なものとした。また、現行の月給制の教育職員における間接経費の給与への追加配分の導入については、1年の経過を見て検討したいが、その配分の対象となる間接経費が少額になりすぎないようある程度の制限を持たせたい。

人事課長から、年俸制導入に伴う給与規程案の内容、及び年俸制に切り替えた場合のモデルケースについて、説明があった。

学長から、上記審議の結果、本案については今後組合交渉を踏まえたうえで進めていき、併せて年俸制の公募を行い、希望者には個別に相談させていただき旨説明があり、了承された。

#### (4) 大学間国際交流協定の締結について

副学長（国際担当）から、次の大学との大学間国際交流協定等を締結することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり締結することが了承された。

- ①インド工科大学カーンプル（インド・新規）
- ②ポルト大学（ポルトガル・新規）
- ③台北科技大学（台湾・新規）

#### (5) 教育職員選考委員会の再設置に伴う委員の選出について

学長から、本日の役員会で再設置が決定された教育職員選考委員会のうち、教育研究評議会の指名する委員の選出について説明があり、審議の結果、了承された。

- ①工学研究院 機械知能工学研究系 知能制御部門 助教 1名（任期なし）

### 7. 報告事項

#### (1) 専門職教員の選考について

理事（大学改革・教育・情報担当）から、本日の役員会で承認された専門職教員の選考について報告があった。

#### (2) 教育職員選考委員会の廃止について

生命体工学研究科長から、本日の役員会で承認された次の教育職員選考委員会について当初の学内候補者が不適合と判断されたため、公募方針を再協議した結果、選考

委員会を廃止することとした旨報告があった。

①生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 人間知能機械講座 特任助教

(3) 教育職員選考委員会の経過報告について

工学研究院長及び情報工学研究院長から、次の教育職員選考委員会が設置承認から1年を経過したため、選考経過について報告があった。

①工学研究院 建設社会工学研究系 建設社会工学部門

准教授又は助教 (H25. 10. 2 役員会承認)

②情報工学研究院 システム創成工学研究系 システム数理部門

教授又は准教授 (H25. 10. 2 役員会承認)

(4) 専門職教員選考委員会の設置及び廃止について

学長から、各部局と連携して英語教育の推進・強化を支援するため、3月の役員会で承認された専門職教員選考委員会を廃止し、新たに専門職教員選考委員会を設置したことについて報告があった。

廃止：学習教育センター

准教授（専門職） 1名（任期：平成30年3月31日迄）

設置：学習教育センター 共通教育支援部門

准教授（専門職） 3名（任期：平成31年3月31日迄）

(5) テニユアトラック教員中間審査委員会委員の選出について

理事（研究・産学連携担当）から、テニユアトラック教員2名の中間審査について、審査委員会委員を選出したことについて報告があった。

(6) 就業規則の一部改正について

学長から、有期雇用職員及びパートタイム職員の労働契約期間を、勤務成績が優秀であり、雇用期間を継続する必要がある場合に限り最長5年までとすることについて報告があった。

なお、今後は組合交渉等を踏まえたうえで規則を改正する旨説明があった。

(7) I R室の運用に関する細則の制定について

総務課長から、I R室におけるデータ分析及び管理運営等の運用に関する細則を制定した旨報告があった。

(8) 剽窃検知・独自性検証ツールの導入に伴う運用開始について

戦略企画室長から、研究活動における不正行為（盗用、ねつ造、改ざん等）を出来る限り未然に防ぐため、11月1日から全教育職員を対象に剽窃検知・独自性検証ツールを導入し、運用を開始する旨報告があった。

(9) 研究活動等リスク別対応計画制定の報告について

学長特別補佐（コンプライアンス担当）から，文部科学省のガイドラインに沿った不正を発生させる要因の把握と不正防止計画の策定のため，研究活動等リスク別対応計画を制定した旨報告があった。

(10) 平成27年度大学院入学試験実施状況について

副学長（入試・広報担当）から，現時点においての平成27年度大学院入学試験の実施状況について，定員充足率をふまえた報告があり，充足率を満たしていない学府，研究科については今後の2次募集等で定員を補充していく旨説明があった。

(11) 国際課の組織等について

国際課長から，国立大学改革強化推進補助金の採択に伴い，海外派遣学生や留学生受け入れが増え，国際業務が増大するため，10月1日付けで国際課の業務体制を整備した旨報告があった。

8. その他

(1) 山川健次郎・藤田哲也の特別企画展について

学長から，「山川健次郎と藤田哲也」特別企画展が北九州イノベーションギャラリーで開催している旨報告があり，出来るだけ足を運んでいただきたい旨依頼があった。

(2) 教育研究評議会の次回開催日について

平成26年11月5日（水）午後1時30分から百周年中村記念館特別会議室で開催する予定。